



実際の利用者映像で習得! 個別機能訓練の効果的な 実施方法と正しい進め方

指導員本来の役割を理解し、適切な評価・介入ができる!

※講義時間:約3.5時間

効果を最大限に発揮するために、LIFEに補足すべき
アセスメントのポイントを具体的に学ぶ

田中義行氏 大起エンゼルヘルプ 理学療法士

介護保険開始前から都内の介護療養型医療施設で拘束廃止に向けた取り組みを実践。「身体拘束ゼロへの手引き」では困難事例の取り組みを紹介。その後、理学療法士養成校講師を経て、現職。現在は認知症高齢者の在宅支援・リハビリテーションに取り組む。養成校非常勤講師、老健医学マネジメント部長を経て、平成25年3月より現職。著書に『縛らない看護(共著、医学書院)』『潜在能力を引き出す介助-(中央法規出版)』『拘縮予防・改善のための介護(中央法規出版)』『写真でわかる拘縮ケア(ナツメ社)』他多数。

録画配信

視聴期間

オンライン

約2週間

22年11/23(水)から
視聴可能になります。

※申込締切:23年1/18(水)

参加料 一般 11,000円 会員 8,000円

税込

※講義時間約3.5時間の録画配信セミナーです。
※PC/タブレット/スマートフォンなどインターネット環境が必要です。

プログラム

1. 個別機能訓練の意味と考え方

- 1) 現場で実施されている機能訓練の問題点と課題
- 2) なぜ効果がでないのか?間違いやすい評価・介入とは
- 3) LIFE導入と機能訓練のあり方
- 4) アセスメントツールに補足すべきアセスメントの視点

2. 機能訓練指導員の本来の役割

- 1) 本来の業務は?間違った業務やアプローチしていませんか?
- 2) ADLの維持・向上を実現するために
- 3) 施設系・通所系における機能訓練の考え方

3. 個別機能訓練の正しい進め方

- 1) 居宅サービス計画から何を読み取るのか
- 2) ここが大事!アセスメントのポイント
- 3) 利用者の身体機能・認知機能の評価
- 4) 適切な目標設定ー達成可能か?ー
- 5) 計画書の作成のポイント
- 6) その人にあった訓練の選び方・提供の仕方
- 7) 効果を最大限に発揮するアプローチ
- 8) 的確な評価・モニタリングをするために

4. 利用者映像で学ぶ! 効果的な実施方法

- 1) アプローチは普段のケアに落とし込む
- 2) 動作評価・介助のポイント!ここだけ見れば正しくできる!
- 3) さまざまな利用者のニーズに応じた訓練内容 ほか

このセミナーはホームページからのみの受け付けとなります▶

日総研 174370

検索

関連雑誌

新・実践情報誌 [季刊]
(定期刊行物・会員制)

個別ケア実現への具体策

認知症ケア

B5判 112頁
入会金 3,000円
年間購読料
13,620円(共に税込)

秋号以降の特集

- 介護現場のいわゆる“困ったスタッフ”とのかかわり方 [秋号]
- 認知症の人の誤嚥性肺炎予防と摂食嚥下機能の改善 [秋号]
- 介護現場でのメンタルヘルスケア [秋号]
- 認知症の人の意思を尊重した看取りケア実践 [冬号]
- 高齢者のスキントラブル予防と日常ケア [冬号]
- Z世代の強みを活かす! 若手スタッフの人材育成 [冬号]

あなたのキャリアを
アップさせる介護の
最新情報を

Twitter #日総研



日総研 接遇大賞

優れたサービス
取り組みを表彰

応募は9月30日まで。発表は11月。

取り組み事例の紹介記事はこちら

接遇大賞

検索

お問合せ TEL: 0120-054977

URL: www.nissoken.com

日総研

検索